

会報

平成13年4月15日

てんりゅう



本年3月27日国道152号バイパスに架橋された「飛龍大橋」の開通記念式典が石川知事ほか約300人の関係者が出席して開かれました。



(撮影者 清水充氏・加藤勝氏)

会報てんりゅう 第68号

(社)天竜建設業協会 天竜市二保町鹿島491-5 ☎(0539)26-1562
編集・発行 広報委員会 題字 秋山純介



伊藤春野町長

広報委員 二十世紀の最後の年に町長さんになられた訳ですが、特に思い出などは。

町長 小さい頃から草野球に親しんでおりました。大抵一年生の時、当時四年生だった巨匠の長嶋監督、杉浦、本屋敷のいた立教野球部の黄金時代が思い出されます。大橋正己さんなどとお付き合い合

いさせて戴きました。当時の思い出は楽しいものばかりですが、昭和四十九年七月の七夕豪雨の時は、副団長として三日三晩役場に泊り込んで復旧作業にあたりましたが、自然の力というか災害の恐ろしさは心の底から脅威を感じました。

広報委員 厳しい財政事情だと思いますが、町づくりの基本となる第四次総合振興計画については。

町長 総合振興計画は十年というスパンで諸事業を計画して進捗を図っています。今回の総合振興計画は、五年経過した昨年の時点で社会情勢や経済環境の変化などに対応していくため計画の見直し作業をいたしました。そしてこの四次総は町民の皆さんに「豊かさを実感できる町」の創造が大きなテーマです。それに新しい過疎振興計画にも①産業の振興②定住しやすい住環境の整備③広域的な行政の運営の三本柱を盛り込み町づくりと活性化に向けて対応していく予定です。

広報委員 ところで平成十三年度の予算についてお話しください。

町長 春野町には、天狗の里

北遠地方の首長さんのインタビュー第二弾は、春野町の伊藤晋一郎町長。伊藤町長さんは昨年八月の就任以来約九カ月が経過しようとしています。弱冠三十九歳で町会議員に初当選、約二十二年間に亘って町議を務めてこられましたので、春野町のことから隅から隅まで存じていらつしやいます。インタビューの中で、これからの町政運営に欠かせないものとして建設業の3Kではないかと前置きし「健康」「教育」「環境」を挙げ、これらの事業推進に当っては町職員のスペシャリストの育成も急務とお話になりました。



北遠の首長インタビュー②

伊藤春野町長にきく



取材風景

ますか。

町長 ここにきて皆さんご存じのように国や県の財政事情が逼迫（ひっぱく）しているため、県などからの助成費が減少しているなどの影響から春野町の予算も総額七十一億二千九百六十万円対前年度比九・九%の減少です。しかし、投資的経費を見ますと一般会計に占める割合は二四・四%と前年並を確保することができました。このため建設業界の皆様には例年並の発注になると予想をしています。

広報委員 特色ある町づくりへの取り組みは。

町長 春野町には、天狗の里

を始めとしてすみれの里、ヤマメの里、牡丹の里、気田地区のホタルの里があり、それぞれ地域の特色にあった町づくりが進められています。現在、その特色がそれぞれ個々に点在している型であります。今後はこれら点になっっているすみれの里などをいかにネットワークで結び町の活性化に結び付けていくのかにかかっていると思いますし、それが私の宿題だと思っています。

しかし、活性化に向けては町民の皆さんの協力が不可欠です。行政側も町民の皆さんもそうですが、ただ待っているのではなく、今よりもお互いに近寄っていった距離をつめ、町の活性化に向けて官民一体という体制で、それぞれ特色のある地域を有効に結び付けて行きたいと思っています。

宝塚市との交流ですが、市長さんから生誕百年に合わせた「すみれの花の里祭り」とをとお話がありました。すみれは宝塚市の花でもあることから、昨年四月、宝塚市役所前の花壇に春野のすみれが植栽されました。これが宝塚市との交流の始まりです。宝塚市の小学生の飛ばした風船が春野町に飛んで来ました。これも縁かなと思っています。今月には大劇場に続く「花の道」の一角に春野のすみれが植えられる予定です。

広報委員 春野町も過疎化への対応に苦慮されているとお聞きしていますが、

長先生から三年生の卒業に当たって色紙の言葉をたのまれ、迷わず「立健」と書きました。「立志」からイメージをふくらまして、なによりも現代の若い人には「すべからず健康なれ」という思いからです。町民の皆様にも心の健康、身体が第一と考え、一方、私自身「健全な社会」をも構築していきたいという思いを込めて「立健」としました。

広報委員 最後に建設業界に



白井鐵造記念館

町長 正直申し上げて社会情勢が目まぐるしく変わる現在、全国的過疎化で苦しんでいる自治体の悩みは、どこも同じです。し、議会議員の時代にも何とか対策を講じたいと思っています。

町長 建設業界を取り巻く環境は、全国的な傾向として公共事業の見直しや工事量の減少など大変厳しい時代に突入しました。しかし、厳しい苦しいと落ち込むことなく、あくまでも前向きで経営に当たって頂きたい。

これからの春野町として

広報委員 ところで、そのすみれの里に関連したことが、宝塚歌劇団だけでなく、歌劇団のある宝塚市役所さんとの交流もお聞かしていますか？

町長 「すみれの花咲くころ」で有名なレビニエの王様、白井鐵造先生を昭和五十七年に名譽町民として顕彰致しました。

町長 正直申し上げて社会情勢が目まぐるしく変わる現在、全国的過疎化で苦しんでいる自治体の悩みは、どこも同じです。し、議会議員の時代にも何とか対策を講じたいと思っています。

町長 「日々是好日」という言葉が好きです。成功のためには毎日、少しずつ努力していくことが大切という教えです。それと今年、町内中学校の校

も「健康」「教育」「環境」が大きなテーマ。これらの事業を推進していくためには、職員のスベシヤリストも育てていかなければならないと思っています。

広報委員 有難う御座いました。



消防団

地元に戻ってきて一年目の春、我家に法被・黒帽子の大勢のいかつい人たちが、「消防団に入ってくれ」と勧誘に来た。これが噂の消防団か、大の大人が軍隊並の規律でオイッチニ、オイッチニ、酒を飲めば怒濤の宴会、コンパニオンも裸足（裸？）で逃げ出すあの消防団かしら、これも地元のつきあいと思つて恐る恐る入団してみると、たしかに酒は飲む。たまにはコンパニオンもくることもある（裸足で逃げ出した所を見たことはない。）

が、年八回の演習・訓練、三カ月に及ぶ夜警、もちろん火事の際には昼夜を問わず出勤し、行方不明者を捜索したり、究極は査閲大会。「大会二カ月前（早い所は一年前、半年前から）より厳しい訓練を行い、最初はやらされてても、しまいには、やらすにはいられない

い魔性の大会。」と消防団活動には、この他にも多種多様なものがあり、皆、真剣かつ真面目に取り組んでいるのである。

今、最近の消防団の最大の問題は団員の減少である。特に北遠地域の減少は著しい。新規入団者は激減、退団者は転出者も含め増加する一方である。また、団員に地元就業者が少なくなつてきて、有事の際ポンプ小屋に一人しか来なくて出るに出来ないという笑えない話を聞いたたりもする。いくら機材・用具を行政が取り揃えても、使える人がいなければ意味がない。これからは消防団も構造改革、定数は正、外部委託（？）なんて近ごろマスコミが騒いでる日本社会の縮図みたいだ。

しかし、仕事以外に多くの人たちと一緒にする一時は楽しく勉強になることも多い。最近の生活で規律正しい活動なんて、この機会以外全くなく妙に清々しい気にもなる。消防団活動も悪くないな、と思いつつも、退団する時を指折り数えて待っている自分であつた。

(T・H)

建設ギャラリー

工事名／(国)152号 道路改築(橋梁整備)事業 — 飛龍大橋 —

工事箇所 浜北市上島～豊岡村神田地内
工期 平成7年度～平成12年度
発注者 静岡県天竜土木事務所

(工事概要)

橋長	L=618.85m
形式(上部工)	8径間連続鋼床版箱桁
形式(下部工)	逆T式橋台A1・A2 2基(直接基礎) 小判型橋脚P1～P7 7基(ニューマチックケーソン基礎)
幅員構成(完成時)	歩道3.00m+車道7.75m+車道7.75m+歩道3.00m 4車線
幅員構成(暫定時)	歩道3.00m+車道7.75m
舗装	アスファルト舗装
橋梁添架物	下水(φ600×1条) NTT(φ75×6条) 中部電力(φ125×6条)
事業主体	静岡県

コメント(天竜土木事務所 工事課長 堀井通弘)

飛龍大橋は(国)152号浜北天竜工区のバイパス整備に因りて浜北市上島地区と天竜市・豊岡村の市村界を結ぶ延長L=618.85mの橋梁であります。平成7年に事業に着手して以来6年間と云う長きに亘る工事期間には出水に依る災害等幾多の困難もありましたが平成13年3月27日の良き日に無事開通式を迎える事が出来たのも、地元皆さんの熱意と協力、施工業者の技術と努力、歴代工事担当者の苦勞の賜物であります。

この橋は湖から天空に飛び上る時の「龍」のイメージに期待と希望を託して「飛龍大橋」と命名されました。又これから、2車線で暫定供用された頃には天竜市内の慢性的な交通渋滞の解消と地域産業の発展、社会交流に寄与する事と思ひます。尚、この工事が無事故で完成した喜びを、関係者皆様に対して工事課一同心より感謝とお礼を申し上げます。(表紙に因連写真使用)

最近のキーワード

ゼロエミッション

一九九四年に国連大学から提唱されたのが、「ゼロエミッション」。エミッションとは排出物、廃棄物のことで、資源を有効に活用して廃棄物などこれらをゼロに近づけるという意味。ゼロエミッションとは、地球環境への負荷を極限にまで減らす社会システムのこと。

これまで大量にものをつくり、消費し、捨てるという結果として、資源の枯渇や環境の悪化を招き、人々の健康に悪影響を与える有害物質などを生み出しました。このため、アメリカやヨーロッパなど先進国の間では、廃棄物をどのように削減したように、先の国連大学から

ら画期的な考えのもと提唱されました。建設業におけるゼロエミッションとは、現場から出る廃棄物を限りなくゼロにするということです。現在、環境ISOといわれるISO14000の認証を取得した自治体が浜松市、湖西市、袋井市などです。今後二十一世紀の社会が緑豊かなものとなるようゼロエミッションへの動きが一層活発化すると予想されます。

事務局だより

◎平成十二年度定時総会

平成十二年度定時総会を三月十四日に天竜建設会館において開催しました。

議案は、平成十三年度事業計画案、収入・支出予算案、会費賦課率案の各議案、ならびに天竜建設業協会の敷地の一部を天竜市に譲渡する議案。

会員の入・退会、代表者の変更等の議案について審議し、すべて全会一致で原案どおり可決、承認しました。

その他の案件として、十三年度の調査研修旅行の日程について、六月七日・九日に行き先を二箇所程度に絞って行うことにしました。また、決算総会の日程は、五月二十三日に開催の予定と決定しました。

◎平成十三年度人事異動

北遠農林事務所

▽所長 横山眞人（農林水産部 治山漁港統括監）

▽次長兼総務課長 松浦 豊（県立短期大学 浜松学生課長）

△建設業係長 川原一行（県

▽農山村整備部長 金田宏夫

（北遠農林技監）

▽技監兼水産支所長 内山眞澄（中遠農林森林整備課長）

▽治山課長 松波通安（県林

地保全室主幹）

▽主幹 豊嶋廣幸（中遠農林

森林保全係長）

▽治山係長 田嶋 昇（中部

農林林地保全係長）

▽林地保全係長 今泉勇次（県

農林道整備室主査）

天竜土木事務所

▽所長 小栗敏雄（浜松土木

新居支所長）

▽技監兼企画検査課長 村越

金敬（下水道事業団静岡事

務所長）

▽技監兼佐久間支所長 滝元

成和（浜松土木維持調査課長）

△総務課長 砂川 博（西部

県行政センター振興課長）

△維持調査課長 野次伸信（天

竜土木佐久間支所主幹）

△工事課長 牧田啓作（島田

土木主幹）

△用地主幹 中田秀雄（浜松

土木主幹）

△主幹 服部茂和（御前崎土

木主任）

△建設業係長 川原一行（県

建設業室主任）

△主任 村松弥寿久（天竜土

木春野町へ派遣）

△主任 小杉宣之（浜松土木

主任）

△主任 斉藤昌之（袋井土木

主任）

◎静岡建設業協会総会

*日時

平成十三年三月二十三日

十三時より

*場所

ホテルアソシア静岡ターミ

ナル三階 駿府の間

*表彰（当協会関係）

秋山 勉（秋山土建）

道林忠雄（道林建設）

西田文雄（西田組）

◎平成十三年度通常総会

の予定

*日時

平成十三年五月二十三日

午後二時

*場所

天竜建設業会館

*議題

・平成十二年度事業報告に

ついて

・平成十二年度一般会計収

支決算報告について

◎天竜建設業協会の予定

*十二年度経理状況の監査

（五月九日 午前十時）

*役員会（五月九日午後一時）

◎静岡建設業協会総会

の予定

*日時

平成十三年五月二十四日

午後一時

*場所

ホテルアソシア静岡ターミ

ナル三階 駿府の間

*議題

・平成十二年度事業報告に

ついて

・平成十二年度一般会計収

支決算報告について

被災防天竜分会の予定

◎技能講習会

*地山土止 五月二十九日

三十一日

*足場 六月十三日～十四日

*型枠 六月十九日～二十日

*玉掛技能：受講者が足りれ

ば実施

◎特別教育

*刈払機取扱主任教育

七月六日



◎職場安全標語の募集
四月に詳細を通知します。
七月に実施する安全祈願祭
の席上で優秀作品を賞揚し、
静岡県支部に応募する。

◎チェンソーの講習について
は受講者が足りれば実施し
たい。

◎安全パトロールの実施

四月 五日
五月 十日
六月 一日
七月 五日
八月 二日
九月 六日
十月 四日
十一月 一日
十二月 六日
一月 十日
二月 七日
三月 七日

Coffee Break



支所久間佐木土木
電算事務嘱託員
木下亜由美

私が佐久間支所でお世話になり二度目の春がやってきました。今では仕事にもなれ、内容も少しずつ理解できるようになりました。

最近では、車で走って

いて道路の工事現場にさしかかると「ここはどんな工法で作られているのだろう」などという考えが頭をよぎります。休日を動かしよう心がけてい

こんには、私の家は、春野町の熊切にあり、周りが杉林で良く言えば自然に恵まれた所、癒え言えば花がすくすく生える所です。こんな事に何にも気にせず明るく楽しい家族を紹介したいと思います。

My Family

春野建設事業(協) 試験室

北野 弘明



あちかが。その相手を軽々と受け答える妻・瑞江(みづえ)「どうやらその極意としては「適当」らしい?私が見る限りで

は。夕方のコップ一杯が楽しみの父・武夫。いつも元気に笑う母・米子。ひ孫と一緒で遊ぶ毎日がうれしい祖母の志づ子(最近腰がすくすくいいらしい)。何んだかんだと一日一日を過ごすだけですが、楽しい時間だなあと思う今日このごろです。(うーん私もこんな事を考える様になったか、年だなあ頭はもつと白いけど...)」

かんとくさん



水窪町建設課
主任主事
伊藤 正男

私は、平成七年七月から建設課で土地改良事業を担当しています。配属された当初「とにかく現

場を見て仕事を覚えるのが一番。」と言われて、机上での設計・積算だけでなく現場を実際に見るといふのは大変重要な事だと思えます。これからの現場での経験を積んで自信を持って仕事ができる様に努力をしていきたいと思えます。

酒 ぼろ酔いのタイム

焼けたソースの香ばしいにおいの昔ながらのお好みや「はなこ」子供のころを思い出させるような懐かしさを感じさせる店内、骨董品とか、昔の古いボスターとか、色あせたセピア色の写真などが所せましと飾られている。メニューはお好み焼きとヤキソバのみで「広島焼き」とか「〇〇入り」とかそんな洒落たものはいらぬ。二十年前に「つくし」という名前が同じ場所でお客さんから「またはじめてくれ」と声が上がった。お客さんがお好み焼きの名前(坪井はな子さん)がはいった。そのままだまにならないうちのシマッタそうです。この取材の二日前にテレビでも紹介されたので、それをみて懐かし



たとえお客さんが取材中に入ってきた。二俣町新町の米徳酒店のとなり、定休日特になし、営業時間六時ごろ。赤提灯がひとつだけ目立たないので通り過ぎないようご注意ください!!